

調達要件	評価の視点 (要求について提案要求仕様書の必須要件の記載事項を満たすこと)	要件内容評価						評価点		
		配点	評価点配分					事業者1		
			5 要件を満たし ており、根拠も 具体的に示さ れている	4 要件を満たし ており、一部の 要件について は根拠が具体 的に示されて いる	3 要件を満たし ているが、根 拠が具体的に 示されていな い	2 一部の要件を 満たしている が、根拠が具 体的に示され ていない	1 要件を満たし ていない	評価	配分後点 数	コメント
章番号										
提案の全体概要 第1章～第3章		100	100	75	50	25	0			
提案事業者が本事業の背景と目的、発注者が担う業務及び現行システムの状況と本業務の目標をどのように理解して提案に臨んでいるのか、市が求める方針と、提案の全体的な考え方や方針に、大きな齟齬がないか		100	100	75	50	25	0			
第4章 対象システムの詳細要件		100	100	75	50	25	0			
4.1.	機能要件	50	50	37.5	25	12.5	0			
4.1.1. 必須要件を満たしているか i) 所属・職員情報機能(・CSVデータを用いた一括更新機能、・組織の統合や新設時の文書データの移管機能、・前所属の文書の参照及び処理機能)を持つこと ii) 起案・收受共通機能(・必須入力項目が未入力の場合、エラーメッセージを表示する機能、・任意コメント入力機能)を持つこと iii) 起案(・文書起案基本機能、・過去の決裁済み文書を参照して新たな起案文書を作成する機能、・收受文書を基にした新規起案文書の作成する機能)を持つこと iv) 收受(・文書收受基本機能、・Eメール受信内容の文書管理システムへの收受機能)を持つこと v) 決裁(・決裁基本機能、・文書処理状態に基づく担当者別処理待ち件数の集計と表示機能、)を持つこと vi) 決裁後処理(・決裁後処理基本機能)を持つこと vii) 文書の保管(・文書の保管基本機能、・直感的な操作が可能な各保管文書の分類、箱の構造、・簿冊情報の保存期間の選択オプションと常用文書の特別扱い、・保存期間満了時の措置の選択オプション、・廃棄簿冊、保存期間延長簿冊、歴史公文書の一覧表示機能)を持つこと viii) 文書の廃棄(・文書廃棄処理機能)を持つこと										
4.2.	非機能要件	30	30	22.5	15	7.5	0			
4.2.1. 必須要件を満たしているか (1)可用性 (2)使用性 (3)性能・拡張性 (4)保守性										
4.3.	その他要件	20	20	15	10	5	0			
4.3.1. 必須要件を満たしているか (1)ファシリティ要件 (2)セキュリティ要件 (3)サービス要件										
第5章 作業における詳細要件		100	100	75	50	25	0			
5.1.	要件定義フェーズ	10	10	7.5	5	2.5	0			
5.2.	設計フェーズ	10	10	7.5	5	2.5	0			
5.3.	製造フェーズ	10	10	7.5	5	2.5	0			
5.4.	試験フェーズ	10	10	7.5	5	2.5	0			
5.5.	移行フェーズ	15	15	11.25	7.5	3.75	0			
5.6.	研修フェーズ	15	15	11.25	7.5	3.75	0			
5.7.	運用フェーズ	10	10	7.5	5	2.5	0			
5.8.	保守フェーズ	10	10	7.5	5	2.5	0			
5.9.	廃棄フェーズ	10	10	7.5	5	2.5	0			
5.9.1. 必須要件を満たしているか										
第6章 業務遂行に関する要件		100	100	75	50	25	0			
6.1.	プロジェクト管理	25	25	18.75	12.5	6.25	0			
6.2.	体制及び要員	25	25	18.75	12.5	6.25	0			
6.3.	打合せ・報告	25	25	18.75	12.5	6.25	0			
6.4.	本業務の納品物	25	25	18.75	12.5	6.25	0			
6.1.1. 必須要件を満たしているか										
6.1.1. 必須要件を満たしているか										
6.1.1. 必須要件を満たしているか										
6.1.1. 必須要件を満たしているか										
項目\要件評価の合計		400								
提案の全体概要 第1章～第3章		100	100	75	50	25	0			
第4章 対象システムの詳細要件		100	100	75	50	25	0			
第5章 作業における詳細要件		100	100	75	50	25	0			
第6章 業務遂行に関する要件		100	100	75	50	25	0			

一次審査（提案事項）

調達要件		評価の視点 (提案について提案要求仕様書の提案事項の記載事項を満たすこと)	提案内容評価					評価点			
			配点	評価点配分					事業者1		
				5 特に優れたものである	4 優れたものである	3 一般的又は標準的なものである	2 やや劣るものである	1 劣るものであるまたは提案なし	評価	配分後点数	コメント
章番号											
第4章 対象システムの詳細要件			100	100	75	50	25	0	0	0	
4.1.	機能要件	4.1.2. 提案事項を満たしているか i) 収受・登録・起案共通機能 • 供覧者及び起案者の負荷を少なくする添付書類の機能 • 個別のケースに応じたルート設定を行う際に、利用者が容易にそれを行うための機能 • 利用者が迷わないよう機能 • 供覧又は決裁を省略し、単純な文書データの保存先としてシステムを利用を行う際の機能 ii) 起案・収受 • 紙文書が文書管理システムのどの起案であるかわかりやすく紐づける機能 iii) 決裁 • 決裁権者が起案文と添付書類のチェックを容易に行うための機能 • システムに登録した添付書類の誤り訂正機能 iv) 文書の保管 • 保管文書の閲覧・共有機能	70	70	52.5	35	17.5	0			
4.2.	非機能要件	4.2.1. 必須要件に加え、第2章「本業務の目標」を達成するべく投資対効果を高めていくために、システムは(1)可用性 (2)使用性 (3)性能・拡張性 (4)保守性の面でどのようにならないかを提案しているか。	15	15	11.25	7.5	3.75	0			
4.3.	その他要件	4.3.1. 必須要件に加え、第2章「本業務の目標」を達成するべく投資対効果を高めていくために、システムは(1)ファシリティ要件 (2)セキュリティ要件 (3)サービス要件の面でどのようにならないかを提案しているか。	15	15	11.25	7.5	3.75	0			
第5章 作業における詳細要件			100	100	75	50	25	0			
5.1.	要件定義フェーズ	5.1.1. 必須要件に加え、第2章「本業務の目標」を達成するべく投資対効果を高めていくために、要件定義フェーズにおける作業はいかに行うべきかを提案しているか。	15	15	11.25	7.5	3.75	0			
5.2.	設計フェーズ	5.2.1. 必須要件に加え、第2章「本業務の目標」を達成するべく投資対効果を高めていくために、設計フェーズにおける作業はいかに行うべきかを提案しているか。	5	5	3.75	2.5	1.25	0			
5.3.	製造フェーズ	5.3.1. 必須要件に加え、第2章「本業務の目標」を達成するべく投資対効果を高めていくために、製造フェーズにおける作業はいかに行うべきかを提案しているか。	5	5	3.75	2.5	1.25	0			
5.4.	試験フェーズ	5.4.1. 必須要件に加え、第2章「本業務の目標」を達成するべく投資対効果を高めていくために、試験フェーズにおける作業はいかに行うべきかを提案しているか。	5	5	3.75	2.5	1.25	0			
5.5.	移行フェーズ	5.5.1. 必須要件に加え、第2章「本業務の目標」を達成するべく投資対効果を高めていくために、移行フェーズにおける作業はいかに行うべきかを提案しているか。	20	20	15	10	5	0			
5.6.	研修フェーズ	5.6.1. 必須要件に加え、第2章「本業務の目標」を達成するべく投資対効果を高めていくために、研修フェーズにおける作業はいかに行うべきかを提案しているか。	20	20	15	10	5	0			
5.7.	運用フェーズ	5.7.1. 必須要件に加え、第2章「本業務の目標」を達成するべく投資対効果を高めていくために、運用フェーズにおける作業はいかに行うべきかを提案しているか。	10	10	7.5	5	2.5	0			
5.8.	保守フェーズ	5.8.1. 必須要件に加え、第2章「本業務の目標」を達成するべく投資対効果を高めていくために、保守フェーズにおける作業はいかに行うべきかを提案しているか。	10	10	7.5	5	2.5	0			
5.9.	廃棄フェーズ	5.9.1. 必須要件に加え、第2章「本業務の目標」を達成するべく投資対効果を高めていくために、廃棄フェーズにおける作業はいかに行うべきかを提案しているか。	10	10	7.5	5	2.5	0			
項目\要件評価の合計			200								
第4章 対象システムの詳細要件			100	100	75	50	25	0			
第5章 作業における詳細要件			100	100	75	50	25	0			

第一次審査（価格）

一次審査（価格）

項番	評価の観点	配点
1	価格評価について 見積書を基に見積金額から次式により算出する。 【計算式】 価格点 = (各社提案価格の平均額 / 当該提案価格) × 配点 (200点) × 0.5 なお、価格点は、200点を超えた場合は、200点を上限とし、0点を下回った場合は、0点を下限とする。	200
価格点		200

合計
事業者 1
提案価格（単位：円） （各社提案価格の平均額 / 当該提案価格） × 配点（200点） ×

※価格点は小数点第一位まで表示しています。

※価格点、評価点は小数第二位を四捨五入した数値を表示しています。

合計点

一次審査合計点

	事業者1
必須要件	0
提案事項	0
価格評価	0
小計	0
市内事業者加点	0
一次審査合計	0